

令和元年度化学物質環境実態調査

分析法開発調査結果報告書

川辺千明*

化学物質と環境, 74-134(2021)

環境水中に含まれるイマザリル(IMZ), チアベンダゾール(TBZ), フルジオキシニル(FLD), アゾキシストロビン(Az), ピリメタニル(Py)の同時分析法を開発した。結果, 固相カートリッジは InertSep PLS-2, 溶出溶媒はアセトニトリル, 最終検液量は 5 mL (20 倍濃縮), 装置注入量 5 μ L が本分析法における最適条件であると判明した。本法における IMZ, TBZ, FLD, Az, Py の定量下限値はそれぞれ, 0.01 μ g/L, 0.004 μ g/L, 0.02 μ g/L, 0.007 μ g/L, 0.02 μ g/L であった。

※現在の所属は、奈良県水循環・森林・景観環境部環境政策課